

編集後記

● 編集後記 ●

大学の研究室の春休み。元気な卒業生が出ていき、かわいい新 4 年生が入ってくるまでの空白期間。卒業論文作成の喧騒の直後のせいでしょうか、一年でもっとも寂しく感じる時期です。

研究室の 2 月は卒業研究完成の一番重要で忙しい月。24 時間労働の活気と疲労感、そして論文下書きが思うように進まぬ焦り。まさに殺気に満ちた地獄の感があります。もちろん、完成すれば一夜にして天国に変わりますが。

卒論書きは今も昔も学生にとっては大仕事。それでも、外見は最近ずいぶん様変わりしました。消しゴムの屑を山のようにして、原稿用紙を前に頭を抱えながら下書きし、清書だけでも 2 晩徹夜というのは昔の話。今では、全員が黙々とワープロとにらめっこ。最終原稿ができれば清書はあっという間に完成。図表もコンピューター製。実に便利で美しくスマートです。

こんな便利なワープロ製の学生の下書きに目を通し

ていて、最近、少々気になることがあります。論文の構成、論理の展開など、個々の文章以前の根幹に関わる点で十分に練られていない原稿が増えているのです。昔の手作り時代なら、修正のために何度も下書きを書き直すつらさを考えると、自然に最初の段階で十分に構想を練り、論理を組み立ててから書き始めていたはず。しかし、ワープロならあとで簡単に何度でも修正できるという気持ちが働くのでしょうか。とにかく文章がどんどん出来上がります。ところが一度文章が出来上がると、どうしてもそれが骨格になってしまい、細部の修正ばかりに目が向き、もはや抜本的な大修正は不可能のようです。

「鉄と鋼」の投稿原稿も最近ほとんどがワープロ原稿になりました。ワープロの便利さのための副作用が「鉄と鋼」の投稿諸氏にも現れないかどうか、編集に携わる者として、少し気になりました。

(T. M.)

鉄 と 鋼 Vol. 78 No. 4 広告目次

表 2 丸本工業(株)	試料準備機器	前 7 (株)島津製作所	磁気式酸素計	後 1 中外炉工業(株)	連続光輝焼鈍ライン
前 1 住金テクノリサーチ(株)		8 (株)チノー	放射温度計	2 大野ロール(株)	研究・開発用圧延機
	試験分析サービス	9 日本カノマックス(株)	レーザ流速計	3 第二吉田記念商事(株)	高速連続引抜機
2 住商エレクトロニクス(株)		10 第一高周波工業(株)	誘導加熱装置	東京科学(株)	試料準備機器
	発光分析装置	11 アイ・シー・アイ・ジャパン(株)		4 (社)化学情報協会	
3 鋼管計測(株)	試験分析サービス		モラブ・アロイ		材料物性データネットワーク
4 理研電子(株)	磁力計	12 (株)堀場製作所	各種分析装置	表 3 市村金属(株)	白金分析器具他
5 (株)島津製作所	微小部分分析装置			表 4 日本アナリスト(株)	TCAR 分析装置
6 (株)島津製作所	万能試験機				